

小笠原諸島周辺海域における海上保安体制の強化について


背景

- 小笠原諸島周辺海域においては、平成26年9月から翌年1月にかけて、中国サンゴ漁船が多数確認（最大200隻以上）
- 離島・遠方海域における業務執行体制を強化するため、小笠原保安署に巡視船を配備する必要

小笠原海上保安署の現状



小笠原海上保安署 職員数7人



就役日: 令和3年2月16日(火)
 配属先: 小笠原海上保安署(第三管区海上保安本部)
 主要目: 長さ 約43.0メートル、総トン数 約200トン、速力 約25ノット以上

小笠原海上保安署の体制強化

◎巡視船の配備に向けた必要施設の整備

令和2年度予算 約10.8億円

※令和元年度予算 約8.4億円

整備済みの施設

- ◆ 巡視船乗組員の宿舎
- ◆ 係留岸壁（給水・給電設備含む）の確保

現在整備中の施設

- ◆ 船艇用品庫

二見漁港（父島）周辺位置図



船艇用品庫 完成イメージ



R3年12月完成予定

係留岸壁



R3年1月完成



宿舎



R3年2月完成